

2017年 6月 6日

各 位

会社名： 株式会社 ナ ガ セ
代表者名： 代表取締役社長 永瀬 昭幸
(コード番号 9733 東証JASDAQ)
問合せ先： 取締役総務本部長 内海 昌男
電話番号： (0422)45 - 7011

子会社(株式会社早稲田塾)の校舎展開見直しに関するお知らせ

2017年4月27日公表の「平成29年3月期 決算短信(連結)」において、当社の連結子会社である株式会社早稲田塾の校舎展開見直しについてお知らせいたしました。その具体的な内容が決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 校舎展開見直しの目的

株式会社早稲田塾が運営する大学受験予備校「早稲田塾」は、AO・推薦入試の分野における優れたノウハウの蓄積と高い合格実績を最大の特長としております。今回の校舎展開見直しは、

- ① 校舎の整理・統合を通じて、存続する校舎に人的資源を重点的に配分することにより、他の予備校にはない早稲田塾ならではの強みをより効率的、効果的に発揮できる校舎配置を実現し、生徒・保護者のご期待に応えられる体制を構築する。
- ② 校舎の体制を充実させることにより、大学入試改革への対応に向けて早稲田塾の特長を活かしたノウハウを蓄積し、当社グループ全体へフィードバックする。

の二点を目的に、早稲田塾の経営資源を集中して、売上の回復と経費圧縮の両面から業績改善に取り組んでまいります。

2 校舎展開見直しの内容

(1)閉鎖する校舎

今回、閉鎖する校舎は以下の11校舎です。これにより、早稲田塾は全12校舎となります。

- | | | | |
|---------|-------|---------|---------|
| ① 秋葉原校舎 | ④川口校舎 | ⑦大宮校舎 | ⑩立川校舎 |
| ② 本八幡校舎 | ⑤所沢校舎 | ⑧金沢文庫校舎 | ⑪八王子校舎 |
| ③ 松戸校舎 | ⑥川越校舎 | ⑨川崎校舎 | 以上の11校舎 |

(2)閉鎖する時期

2017年8月末を目処としております。

(3)在籍生徒への対応

閉鎖校舎に在籍する生徒の皆様には、近隣の存続校舎への転校などを含め、早稲田塾として最大限の配慮を払い、対応してまいります。

3 当期業績への影響について

本件の影響は軽微で、2017年4月27日公表の「平成29年3月期 決算短信(連結)」に記載の「平成30年3月期の連結業績予想」の中に織込済みであり、今回の開示に伴う変更はございません。

(ご参考)

株式会社早稲田塾 当期見込を含む最近3年間の個別業績の状況

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期 (見込)
売上高	3,522	2,593	2,117
営業利益	△ 327	△ 953	△ 645
経常利益	△ 336	△ 946	△ 645
当期純利益	△ 503	△ 1,617	△ 842

※ 今回の校舎閉鎖による物件費削減等の効果が本格的に現れるのは、2019年3月期以降になります。

以上